

オリエンテーション委員会

委員長 中野 雄介
副委員長 加藤 信宏

1) 基本方針

四日市青年会議所は成長の機会がある中で、多くの会員が自身の目的をもち活動しています。青年会議所運動は、目的をもつ会員による主体的な活動が欠かせません。しかし、目的意識はあっても、活動とのつながりに気づかない会員がいるのも事実です。それが明確になり行動が変われば、より良い社会の実現には多くの仲間が必要だと理解できます。個人の主体的な行動により活動の共感を広め、共に高め合う仲間を増やす必要があります。

まず、共感を生み仲間を増やすために、青年会議所と連携する団体を招き、自身の経験を自身の言葉で伝えることが会員拡大に結び付くことを学びます。会員が自身の経験を踏まえ、四日市青年会議所の目的と自身の目的を伝えられるようになり、自ら進んで取り組む会員拡大の輪が広がります。そして、自身が目指す将来像と目的意識を描くために諸先輩方の経験の共有を通し、交流の場を設けます。個々の将来像に向かう意識が成長する行動力に変わり、候補者にも共感が広がることで、理想を実現しようとする青年の前向きな変化が成長へとつながります。さらに、会員の多様な発信力を引き出すために、対外参加者と対話を通じて多様な考えを共有し、相互が学べる場を設けます。ともに考えることで、四日市青年会議所のもつ可能性を具体化し、互いに新たな価値観を育むことができます。また、新入会員も含め全会員が学ぶことで、実践できるように年間の研修計画を策定し、既存の良さを磨き、より良い仕組みで運用します。会員が相互に新たな成長を重ね、入会して間もない会員は経験を重ねた将来像が、成長した姿と入会した価値を実感します。

会員一人ひとりが主体的に動き、目的を語り、相手に寄り添うことで互いの理解が深まり、多くの仲間が集まることで幅広い運動につながります。将来像に共感し、互いの想いが互いの挑戦を支え合い、学びと成長による良い変化が続く四日市青年会議所になります。

2) 事業計画

1. 目的意識と会員拡大による組織づくり	通年
2. 2 月度例会	2 月 16 日
3. 5 月度例会	5 月 15 日
4. 9 月度例会	9 月 8 日
5. JC プログラム	
6. 対外事業窓口（献血）	1 月、7 月
7. 出向者への支援	通年
8. 同好会への支援	通年

3) 事業予算

241,500 円

4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日

38 第二回正副理事長予定者会議 2025 年 10 月 15 日(水)

39 意見 1：L2「しかし」なくても文章は通じるのではないのでしょうか。

40 対応 1：現状から文章を展開させるための表現でしたが、唐突に感じますので表現を変更

41 しました。

42 意見 2：上段、拡大についての課題はどこにあたりますでしょうか。

43 対応 2：現状読み取れない形と感じましたので、端的な表現を考えました。

44 意見 3：L3 からは手法に入っているように見えます。

45 対応 3：記載の順序を整理し、手法とならない文章としました。

46 意見 4：L3 アップデートが必要な課題を記載するのがこの部分なのではないのでしょうか。

47 対応 4：記載の順序を整理し、手法とならない文章としました。

48 意見 5：L6「会員に育成システムで得た学びを定着させるため」得られる学びを具体的に

49 記載し、「その後に続けたほうが良いのではないのでしょうか。

50 対応 5：課題に対して効果的な手法が伝わるように表現を考えました。

51 意見 6：L7 年間のカリキュラムを運用とは具体的にはどのようなことをする予定でしょう

52 か。

53 対応 6：会員のステージ別に教育の材料を用意し、漏れのないように進捗を管理していく

54 イメージをしておりましたが記載を削除しております。

55 意見 7：L8「入会の目的」は入会後ではなく入会前に持ってもらうからこそ入会につな

56 がるのではないですか。

57 対応 7：「青年会議所活動だからこそできる目的の持ち方」まで焦点を合わせてもらいた

58 いと考えていますが、言葉選びが不適と感じましたので修正しました。

59 意見 8：2 月度例会「会員拡大の際に」や「新入会員に自身の経験を論理的に伝えるため

60 に」といった目的を記載したほうが良いのでは。

61 対応 8：何のためにこの手法を通して成長するかを加えました。

62 意見 9：有識者は今のところ具体的にイメージされていますか。

63 対応 9：現状「アチーブメント」様を考えております。

64 意見 10：理念と拡大に直結する話と、自身の経験を組み合わせると目的が伝えられるよう

65 になる理由を教えてください。

66 対応 10：講話で理念と拡大の因果を学び、各自の経験と接続して目的を一人称で語る力

67 を養います。「直結」などで文章の流れが分かりにくくなっていると感じましたので、表

68 現を修正しました。

69 意見 11：すごく目的って言葉が出てきますが、文章全体における目的とは何を指して

70 いますか。

71 対応 11：組織の目的：修練、奉仕、友情を基本として、より良い社会づくりに貢献する

72 こと。※総則第三条個人の目的：各会員が「なぜ JC に所属し、活動で何を達成するか」

73 を再確認し、各活動に目的意識を持って臨むこと。二層あると考えておりましたが、伝

74 わりづらいかもしれませんので、整理できるように考えています。

75 意見 12：9 月度例会の件が、文章つなげようとしすぎて意味が伝わらないと思います。区

76 切ってもいいのでは。

77 対応 12：目的、手法、効果の流れを意識して整理するようにしました。

78 意見 13：L1 会員相互で学び、とは、どのような様子を指しますか。

79 対応 13：「会員相互で学び」は、一方通行ではなく、互いの経験や視点を取り入れ合う

80 様子ですが、基本方針内からその表現を削除しました。

81 意見 14：L2 これまでも改善を繰り返してきたとありますが、どのような改善をされてきた
82 のか教えてください。

83 対応 14：その表現を削除しました。

84 意見 15：度々登場する育成システムとは、どのようなものを指していますか。

85 対応 15：例えば、セミナーそのものをイメージする方もいるかもしれませんが、セミナー
86 はシステムの一部です。システムは「様々な育成の仕掛け全体」をシステムと表現してい
87 ます。

88 意見 16：L3 青年会議所の目的に基づいた育成システムとはどのようなものを指します
89 か。

90 対応 16：目的＝総則第三条（※人づくりを通じて社会により良い変化をもたらす）を実現
91 するために、設計されるものです。

92 意見 17：育成システムによって可能性を指し示すとはどういう意味ですか。

93 対応 17：「こうなれ」ではなくて「こうもなれる」という道筋を見せるものかと思いま
94 す。

95 意見 18：L6 育成システムで得た学びを定着させるための年間カリキュラムとはどういっ
96 たものですか。

97 対応 18：年内入会者が互いに復習と実践を重ね、年度末には直近入会者を教える側へ移行
98 する設計です。

99 意見 19：L7 年間カリキュラムはいつ頃作成され、どのように皆へ共有されるのでしょ
100 うか。

101 対応 19：通年議案として共有しました。

102 意見 20：L7～8 現役会員が～速度を高めます。これは、育成システムでこういうことを
103 やるという意味ですか。

104 対応 20：「育成システムの一要素としてこういうことを行う」という意味です。

105 意見 21：L8 資質向上とはどのようなことを指すのか教えてください。

106 対応 21：リーダーとしての力が磨かれること、のようなことを考えておりましたが、絞り
107 込みがなく抽象的と感じました。何に効果があるのかを考えました

108 意見 22：L10 有識者による理念と拡大に直結するお話をしていただき、の文章が不自然
109 ですので、有識者に、有識者から のほうが良いと思います。

110 対応 22：参考とさせていただき、表現を考え直しました。

111 意見 23：上記、理念と拡大に直結するお話とはどのような内容をイメージされています
112 か。

113 対応 23：自分の経験を一人称で語る力を磨く講話とワークを考えています。

114 意見 24：L10～11 この部分で青年会議所での目的を伝えられるようになるイメージが沸
115 かないです。

116 対応 24：効果をイメージできるような表現に改めました。

117 意見 25：9 月度例会の部分、文章の前半と後半のつながりがよく分かりません。

118 対応 25：目的、手法、効果の流れを意識して整理するようにしました。

119 意見 26：L15 相手に語ったうえで、それに加えては二重表現ではないでしょうか。

120 対応 26：「言葉で相手に語り、その上で相手を知り」程度で通じる文章と感じました。再
121 考いたします。

122 意見 27：L6 まず我々は、まずは、でよいと思います。

123 対応 27：なくても伝わると感じました。削除いたします。

124 意見 28：L18 新たな一歩目踏み出す勇気を持てば、新たな一歩を踏み出す勇気を持てば、
125 ではないでしょうか。

126 対応 28：「目」より「を」のほうが適正と感じましたので、修正いたします。

127 意見 29：L19 また、さらに多くの多種多様な～とありますが、どこからつながってきた文
128 章ですか。

129 対応 29：全体を通してうまくつなげられるように修正します。

130 意見 30：まずは、そして、さらにというふうに文章が構成されていますが、一連の流れや
131 関連性をどのように考えていますか。

132 対応 30：委員会基本方針作成のための参考資料、中段を参考としておりましたが、慎重に
133 使用するようにしました。

134 意見 31：L1 お互いを理解し合う中でどのような成長の機会があるのでしょうか。価値観を
135 知ることでしょうか。

136 対応 31：理解し合うことは「調和」のためではなく、「変化」のため。他者の理解から生
137 まれる自己変革の機会、と考えます。

138 意見 32：L2 「学びを加速する」と「成長する」は同意で使っていますか。成長と学びは違
139 うのでは。

140 対応 32：「成長」のために必要なもののひとつが「学び」と考えております。文章の流れ
141 として指摘のように読み取れますので、文章を修正しました。

142 意見 33：L2～3 所属間もない人間だけではなく、歴が長い人間にも必要なのではないです
143 か。

144 対応 33：より深堀と調査を進め、根本的な課題に焦点を当てられるようにいたします。ま
145 た、暦に関係なく成長と学びは必要なものと捉えます。

146 意見 34：L3 ではアップデートが必要とあり、L5 では未来を描く必要とあります。どちら
147 が課題として必要なのか分かりません。

148 対応 34：基本方針作成の参考資料を改めて確認し、整理された文章としました。

149 意見 35：L3 育成システムはアップデートし続けているのではないのでしょうか。（四日市
150 JAYCEE プロ JC プログラムなど）

151 対応 35：育成システムとその他のものを同じに感じさせない文章としました。

152 意見 36：L3 青年会議所の目的に基づいた育成システムと日本、JCI が提供している JC プ
153 ログラムは目的に基づいていないという理由を教えてほしいです。

154 対応 36：基づいていると考えます。それぞれの役割を明確にしました。

155 意見 37：L4～5 加えてと急に来るがこれが必要な原因の記載がないから分からない。

156 対応 37：理事長所信の言葉から、より深堀と調査を進め、根本的な課題に焦点を当てられ
157 るようにしました。

158 意見 38：背景が表面的過ぎる。理事長所信に書かれていることは全体に道しるべであり、
159 それをそのまますればよいということではない。

160 対応 38：承知いたしました。考えを改めます。特に拡大の課題が見えないことについて
161 は、他からも意見をいただいておりますので、そちらにもしっかりと意識を向けて取り組
162 んでまいります。

163 意見 39：L7 年間カリキュラムを創れば何故育成システムで得た学びを定着できるのか
164 対応 39：例えば、年内に入会したメンバーは復習と実践を重ね、年度末には直近の新入会
165 者を教える側に回るなど、教え合いの仕組みを用いて定着につなげていきたいと考えてお
166 ります。

167 意見 40 : L7 年間カリキュラムを運用します。 の後、違う手法を記載しているのであれ
168 ば枕詞がほしい。

169 対応 40 : このあと、文章も変わってくると考えますが、進めていく中で、メリハリがあ
170 り、分かりやすいものを心がけて修正いたしました。

171 意見 41 : L8 入会目的がないまま入会している人はいますか。また、他の人の経験を聞け
172 ば何故入会の目的が理解できますか。

173 対応 41 : 対象の表現が誤解を生むものとなっておりますので、表現を考え修正しました。

174 意見 42 : L8 速度は高くなるのか、早めるのではないか。

175 対応 42 : 正しい言葉の選択として「早める」だと考えましたので、修正いたしました。

176 意見 43 : L10 直結とは。

177 対応 43 : 「直結」によって文章が分かりにくくなっていると感じましたので、表現を考え
178 直します。平易な表現を心がけ修正いたしました。

179 意見 44 : L13 家庭や社業に何を還元するのでしょうか。そうすることが何故必要なものでし
180 ょうか。先輩との交流が何故必要なのでしょうか。背景のどこと関係しているのか、話し
181 を聞くだけで落とし込む、理解することができますか。

182 対応 44 : 全体との関係がぼやけていると感じましたので、より効果的なものになるように
183 考え直し修正いたしました。

184 意見 45 : L14 9 月度例会で好循環を生み出しては遅いのではないのか。2→5→9 の成
185 長のイメージをもっと持ってほしい。9 月で初めて考えては遅いと考える。

186 対応 45 : 2→5→9 の成長イメージを、背景と展望により効果のあるものに考え直しまし
187 た。

188 意見 46 : 5 月の会場費例年よりも高いがどのような想定なのか。

189 対応 46 : 昨今の物価高騰の影響もあり 4 月 1 日より金額を値上げする可能性がございま
190 す。値上げにも対応できるよう、室料が基本料金+前後の延長代が 20%ほど足して計算し
191 ました。

192 意見 47 : 通年の会場費の根拠教えてください。また広報費もお願いします。

193 対応 47 : 会場費は商工会議所小会議室でのアチーブメント様によるセミナー(テーマ別 2
194 回、理念共感、拡大)を考えております。広報費については、パンフレットとデザイン変更
195 に関するものです。ただ、基本方針上に記載もなく、各事業についても抽象的ですので、
196 記載を見直し修正いたしました。

197 意見 48 : 9 月は何故 2 か月前審議なのか、また事業計画書の罫線が切れている。

198 対応 48 : 対外参加者を募る事業としようとしておりました。罫線を追加いたしました。

199 意見 49 : 各事業内容についてですが、委員会基本方針よりも詳しく記載をお願いできます
200 か。今のままでは何をしたいのか分かりにくいです。

201 対応 49 : イメージがしやすいより具体的な内容へ記載を修正いたしました。

202 意見 50 : L19 また、では分かりにくいし、加速するのか、明るい豊かな社会へつなげるの
203 か、どちらがなるべき姿なのか。

204 対応 50 : ゴールを一つに絞り、インパクトのある一年になるように修正いたしました。

205 意見 51 : 同上 今のままではゴールがどのように設定されているのか、2 つあって分から
206 ない。関連があるなら記載は一考すべきです。

207 対応 51 : ゴールを一つに絞り込み、インパクトのある一年となるように修正いたしまし
208 た。

209 意見 52 : L18~最後 すでにいつも目的意識をもっていたり、新たな一步を踏み出し続け

210 ている人もいるがその人は1年後どのような姿になっているのか。

211 対応 52：多様な価値観との出会いを通して「変わる」より「深まる」と考えましたので、

212 そのような人たちにも効果的と考えられる内容に修正いたしました。

213

214 第二回理事予定者会議 2025 年 10 月 29 日(水)

215 意見 1：1 行目の目的を持つ会員の思いが共感を生み…という書き出しは何の目的を指しま

216 すか。

217 対応 1：会員拡大の目的と考え、記載いたしました。

218 意見 2：L3 の部分で意識できている人もいますがこれだと全員に対してを指して

219 いるように読めます。

220 対応 2：持っていない人がいる表現を変更し、分かり易い表現にしました。

221 意見 3：L6 の有識者とは諸先輩方の事でしょうか。

222 対応 3：現在、アチーブメント様を指す表現として使用しております。

223 意見 4：背景、課題について目的と活動の意識を持つことが課題、仲間を増やすことが課

224 題、つながりが少しわかりづらいですが何が課題として挙げられますか。

225 対応 4：在籍会員が目的と活動の意識をより明確に持ち、対外の人を巻き込み会員拡大す

226 ることが課題と考え、記載しました。よりわかりやすい表現に変更します。

227 意見 5：自身という言葉が少し多く読みづらいので、一度精査してみてはいかがでしょうか。

228 か。

229 対応 5：全体のボリュームを確認しながら、自身という文言を削減しました。

230 意見 6：事業内容全般を通して活動内容が様々な方と対話することに読み取れるような気

231 がします。

232 対応 6：まず、他人を巻き込むために自身が変わる仕組みを手法として考えておりました

233 ので、より明確な表現も検討してみます。

234 意見 7：L16 のより良い仕組みとは何ですか。

235 対応 7：今まで開催していたものを分割し、対象者が年間で習得し、復習を兼ねた実践す

236 るサイクルを考えております。

237 意見 8：「機会の獲得や挑戦への不安を減らすこと」という表現はマイナスの表現に聞こえ

238 るので見直してはいかがでしょうか。

239 対応 8：該当箇所の表現を前向きな表現に見直し、文言を変えました。

240 意見 9：多様な発信力とはどのようなことですか。

241 対応 9：固定概念にとらわれず、他の意見を取り入れ、様々な見方で捉えた発言と考えて

242 おります。

243 意見 10：「教育課程」という言葉は学校教育で使用する言葉なので少しニュアンスが違う

244 気がします。

245 対応 10：該当箇所を違う表現とし、研修計画としました。

246 意見 11：L16～L17 のところで既存会員が導き、入会した価値を実感が得られるのではな

247 く、日々の活動や事業を体感し、皆で理念を共感することでやっと真価に近づくのが青年

248 会議所の 1 フレーズだと思います。背景にも目的と活動を十分に意識できてないという文

249 言があるのでつながらないのではないのでしょうか。

250 対応 11：活動や事業の参加に一步引いている会員の心持ちに変化を与えることができ

251 ば、本人に今までなかった魅力を感じることができ、自然と脚が進み、共感が周囲の方々

252 に伝播していくと考え記載しました。

253 意見 12 : L10, L18 の「不安」という言葉は積極的や前向きという言葉に置き換えたほうが
254 と思いますがいかがでしょうか（不安という言葉を載せない）。

255 対応 12 : 該当箇所の単語を違う表現に変更します。

256 意見 13 : L19 の「伝えています」は表現に違和感を感じます。

257 対応 13 : 一年の終着地点の姿を考え、記載しましたが違う、表現も検討してみます。

258 意見 14 : L19~L20 この状態には今もなっていると思います。

259 対応 14 : 現在もそうであると考えており、さらに波及効果を求め、入会している会員はも
260 ちろん、さらに未入会の周囲の方々も巻き込まれ、四日市青年会議所との関係性を作ると
261 考え記載しました。

262 意見 15 : L9 「前向きな気持ちになるために」の後の文章のつながりが分かりづらく感
263 じます。前文にシニアクラブ交流会や創立記念日などを入れてはいかがでしょうか。

264 対応 15 : 全体のボリュームを確認しながら、該当箇所を調整しました。

265

266 第三回正副理事長予定者会議 2025 年 10 月 15 日(水)

267 意見 1 : L2 目的意識を持って活動しているとは、何に対しての目的意識でしょうか。

268 対応 1 : 一人ひとり、意識に差はあれど、何か目的を持って活動しているということが伝
269 えたいと考えています。

270 意見 2 : L2-3 会員拡大の目的と活動に対して、とはどのような意味でしょうか。

271 対応 2 : 前文の幅広い表現から、「その中でも」と、ひとつ絞り込んだ表現をしております。
272

273 意見 3 : L3 それぞれの価値観が混在している現状です。のそれぞれとは、会員一人ひとり
274 のことですか。

275 対応 3 : 会員一人ひとりのことです。

276 意見 4 : 自身の目的と JC の運動がリンクするから JC へのメリットを感じ、目的意識を持
277 った活動ができるかとおもいますが、いかがでしょうか。

278 対応 4 : 自身の目的と JC の活動がリンクする→JC へのメリットを感じる→目的意識を持
279 った活動ができると考えております。

280 意見 5 : JC を魅力的な組織と捉えているからこそ前向きに会員拡大ができる。というよう
281 な順序はイメージと異なりますか。

282 対応 5 : 自身の目的と JC 活動がつながり、成長を実感できる人ほど、JC を魅力的に感じ
283 て前向きに仲間を増やせます。そのためには、自身の目的と成長を自分の言葉で説明でき
284 ることが大切と考えております。

285 意見 6 : L7 青年会議所の目的と自身の目的がどうなれば良いと思いますか。それぞれを単
286 に伝えるだけでは、会員拡大の輪が広がるイメージができません。

287 対応 6 : それぞれを伝えるような表現となってしまうので修正いたします。自身
288 の目的と青年会議所の目的が結びつき、活動を通して成長した結果、目的達成の未来像を
289 表現できることが大切と考えています。

290 意見 7 : L8 共有を通してとは、何の共有でしょうか。

291 対応 7 : 経験や目的意識といったところですが、唐突な表現と感じましたので、修正いた
292 しました。

293 意見 8 : L8 諸先輩方との交流は、強固な関係を築くためよいでしょうか。次の文章につ
294 ながっているのであれば、候補者の記述が唐突な感じがします。

295 対応 8 : 文中で急に共感する候補者が現れますので、修正いたしました。

296 意見 9：L18 意欲的で前向きな姿は、入会目的を自分の言葉で語れるのではなく（それだけ
297 にとどまるのではなく）、自然と周囲を巻き込み、会員拡大につながっていくものではない
298 でしょうか。

299 対応 9：「自分の言葉で話せる」が最終的な展望に見えてしまうのはスケールが小さく感
300 じますね。つなげていきたいのは会員拡大ですので、表現を変更いたしました。

301 意見 10：L1 継続性は高めるのでしょうか。

302 対応 10：持続性は「保つ」「確保する」のようなものが馴染むと考え、前後も含めて調
303 整します。

304 意見 11：L1 課題解決を加速させるという使い方に違和感があります。課題解決を加速させ
305 るということは解決するまでの期間を早めるのですか。あと、青年会議所がさせているの
306 ですか。しているではなくですか。

307 対応 11：課題解決の一助となるイメージですが、「加速」は唐突な表現で違和感を感じ
308 ましたので修正いたしました。「させる」についても、やや自己評価がすぎる表現かと思
309 いましたので、修正いたしました。

310 意見 12：L2 と L1 のつながりが良く分からない。課題解決を加速させているから、どうな
311 るのか教えてください。

312 対応 12：読みづらく、つながりが分かりにくいものとなっておりますので、修正しまし
313 ました。

314 意見 13：L2 の目的意識は何に対する目的意識なのか、それと会員拡大の目的と活動がどう
315 リンクしているのか。青年会議所としての目的は共通だけど、会員拡大の目的と活動意識
316 が会員一人ひとりで違うってことですか。会員拡大の目的っていれることに対しては同じ
317 ではないですか。イメージをおしえてください。

318 対応 13：一人ひとりが、意識の差はあれど様々な目的を持って活動をしておりますが、
319 その中でも会員拡大に向けた目的意識は、意識の強度に差があるというイメージです。

320 意見 14：L4 課題がそれぞれの価値観が混在しているということであれば、活動を統一した
321 いという目的があるなかで、次の文章では自身の経験をもとに自らの言葉でという、それ
322 ぞれの価値観に頼る文章になっているので、課題がどこにあるのかおしえてください。

323 対応 14：一人ひとりが社会をより良くしたいという目的はあるものの、青年会議所活動
324 との接続に強弱があり、弱い会員は日頃の発信においても前向きさを欠くこととなり、結
325 果として青年会議所活動の価値を伝えられないことが拡大活動上の課題です。

326 意見 15：L4～5 課題があるなかで、背景目的としては、自身の言葉で発信すべきなの
327 か、会員自身の前向きな姿勢なのかどっちなのか分からないしのでおしえてください。ま
328 た、その後の「自らの言葉で～」は L3 からの「青年会議所の目的と活動を～」と同意では
329 ないでしょうか。

330 対応 15：どうゆう状況が望ましいのか、端的に表現できるように絞り込んで修正しまし
331 ました。

332 意見 16：オリエンテーションに対する課題が無いように見えます。主に会員拡大に対して
333 のみ。理事長所信では成長や交流の課題も出ている中で、深堀が足りていないのではない
334 でしょうか。「何故「自らの言葉で話す」ことが全員出来ていないのか、何故話す必要があ
335 るのか」といった深堀が必要かと思います。

336 対応 16：偏りが強くなっているようなので修正いたします。改めて、各課題に対しての
337 深堀りと、つながりを考え直しました。

338 意見 17：L6 講師を招いて何をしたら、会員拡大に結び付くのが学べるのか記載が必要か

339 と。手法はあっても効果の記載がなく、結果が書いてあるからどう考えているのか分から
340 ないので、記載するかイメージをおしえてください。また、ここで講師と書くと、もし議
341 案が変わったり修正ができないし。講師ありきで考えているようにも見えるので、具体的
342 すぎる手法は削除した方が良いのではと思います。

343 対応 17：課題に対しての効果を明らかにし、講師の表記についても考え直しました。

344 意見 18：L8 自身の言葉で話せるようになったら、何故自ら進んで会員拡大を行えるように
345 なるのか教えてください。

346 対応 18：えられる→自ら進んで、…は少し飛躍しすぎているように思いますので、考え
347 直しました。

348 意見 19：L8 共有とは何を共有するのか教えてください。

349 対応 19：経験や目的意識といったところですが、この箇所において、唐突な表現と感じ
350 ましたので、修正いたしました。

351 意見 20：L9 すでに強固な関係を持っているのでは。強固な関係とはどのような状態を指す
352 のか主語がないから分かりません。候補者との対話の中で共有するのでしょうか。候補
353 者に共感を広げることが何故、新たな可能性を生み出すのでしょうか。また、これまで理
354 念共感で拡大してきたことと何が違うのか教えてください。

355 対応 20：既にございます。一人ひとりに視点を変えると関係が薄い方もいるというイメ
356 ージでしたが、現状、ただ関係が無いように見えますので、表現を修正いたしました。

357 意見 21：L11 対外参加者と候補者の違いは何でしょうか。ここの文章と L9～10 の文章の違
358 いが分からないのでおしえてください。

359 対応 21：青年会議所での活動を通して成長し、自身の目的達成のビジョンを候補者との
360 対話を通して、ともに描けることが、拡大につながると考えております。そうゆう意味で
361 は、共有や共感のみで説明がつきづらく曖昧な文章となっておりますので、修正いたしま
362 した。

363 意見 22：相互に共感とあるが、L10 の候補者にも共感を広げながらの時点でできているの
364 ではないですか共感とはどういう定義で、どのようなことを想定してるかおしえてくださ
365 い。

366 対応 22：対外参加者は、参加者を幅広に募りたいときに、対象に幅があったほうが良い
367 かと考えましたが、対象の絞り込みも視野に文章を改め修正いたします。

368 意見 23：より良い仕組みで運用とあるが、何を運用するイメージか教えてください。

369 対応 23：自身の言葉が相手に響くイメージをしておりましたが、安易に使用すると具体
370 性に欠け、混乱を生みますので、整理して表現できるように修正いたしました。

371 意見 24：また、改めて学びなおす必要がどこにあるのか教えてほしいです。

372 対応 24：通年議案の四日市 JC プログラムや四日市 JC セミナーを中心としたものを指し
373 ます。また、「経験を重ねている会員もあらためて学び直し」はやることにに対して違うイ
374 メージがありますので修正します。どちらかというと、経験を重ねている会員は、背中を
375 押したり、巻き込んだりする部分に学びがあると考えております。

376 意見 25：L13 以降は背景目的のどこにあたるのか教えてください。

377 対応 25：手法の必要性を感じる文章に修正いたします。

378 意見 26：L17 描くだけで実感はできない。経験が必要ではないでしょうか。

379 対応 26：描き、活動や機会の中で目標に向かえていることが大切と考え、表現を修正い
380 たしました。

381 意見 27：L15 あらためて → 改めて

382 対応 27：修正いたしました。

383 意見 28：L18～ 前向きに行動する姿で語れるように「なる」ではなく、「なっていま
384 す」と自然になるような感じなのか。意識してなるのではないということでもよかった
385 でしょうか。

386 対応 28：自然と…なっていますという表現は、何もしていないように感じるので、修正
387 いたしました。

388 意見 29：最後の姿は会員一人ひとりの姿と組織の姿を別々で表現していると思うが、今の
389 ままでは主語なくて、どのような想定なのか分かりにくいので、一考してください。

390 対応 29：最後の部分は、会員一人ひとりの姿と組織の姿を別々で表現し修正いたしまし
391 た。

392

393 第三回理事予定者会議 2025 年 11 月 20 日(木)

394 意見 1：自身のという単語がよく出てきているので、まとめてあげるとより読みやすくな
395 ると思います。

396 対応 1：文章の表現を変更できるところで修正いたしました。

397 意見 2：背景の L2 から L4 行目の部分が漠然としていて、わかりづらいのでもう少し付け
398 加えてあげると良いと思います。

399 対応 2：表現の仕方を変更しました

400

401 第四回正副理事長予定者会議 2025 年 11 月 27 日(木)

402 意見 1：1 行目の青年会議所ではなく、「本会議所」と記載した理由を教えてください。

403 対応 1：話を絞り込みたいところもあり、本会議所といたしました。

404 意見 2：3 行目の事実としたエビデンスを教えてください。

405 対応 2：ここでの「事実です」という表現は、日頃の対話などから見えている実感に基づ
406 いています。例えば、目的を聞かれても「うまく言葉にできない」という声が複数あった
407 ことや、例会や事業の場で「とりあえず参加している」というニュアンスの発言が出てい
408 ることなどから、目的と活動のつながりを十分に意識しきれていない会員も一定数いると
409 捉えています。

410 意見 3：1 行目の欠かせないことは青年会議所「運動」、3 行目から 4 行目の課題に対す
411 る答え目的は「活動」この使い分けを教えてください。

412 対応 3：この運動は、自己成長とともに地域社会の課題解決に取り組み、より良い社会を
413 創造しようとする集団的な行動を指しますが、3-4 行目は視線を目の前に落とし、ひと
414 つひとつの日々の活動と自分の目的としています。

415 意見 4：4 行目実現「には」目的のような表現にも見えますがルールとして良かったので
416 でしょうか。

417 対応 4：「には」は記載ルール上使用不可とはなっておりません。しかし、目的とも捉え
418 られることや手法のように読み取れるので修正いたしました。

419 意見 5：5 行目の目的と活動のつながりが明確になれば、何故仲間を増やす必要があると
420 理解できるのか教えてください。

421 対応 5：目的を持ち、活動する仲間が一人でも多くいる状態は、より良い社会につながり
422 ます。一人でできることもあるかもしれませんが、そんな人財が溢れる地域は必ず良くな
423 ります。

424 意見 6：背景に「必要」が二つあるのですが、同じ仲間を増やす必要があるとなっており
425 ますが、同じ文章が続くことに違和感があります。結局すべきなのは仲間を増やすことを
426 理解することが重要なのか、仲間を増やすこと自体なのか。

427 対応 6：ともに高め合う仲間を増やすことですが、必要が続いているのは文章としておか
428 しいと思いましたので検討し修正いたしました。

429 意見 7：5 行目の基盤と軸のイメージが分かりませんので、教えてください。

430 対応 7：個人の主体性は基本的に必要なものとして基盤と表現しました。活動を通して得
431 られる共感や、仲間との関わりを深める中心的な働きを持つため、それを軸としていま
432 す。「主体性という土台の上に立ち、共感という芯を通していくことで、仲間が増え、運
433 動が広がっていく」というイメージです。

434 意見 8：5 行目のともに高め合うとは何を高め合うのか教えてください。

435 対応 8：それぞれ高めたいものが違いますので、何をというのが難しいですが、互いに背
436 中を押し合い、成長していく様子を表現したいところではあります。

437 意見 9：上段の背景が大きく修正されているが、それに伴う手法の部分の修正が少ないよ
438 うに見えます。背景目的が変わればその手法も一緒に変わるのではないのでしょうか。

439 対応 9：文章表現のところで多く修正を加えております。

440 意見 10：9 行目 想いの共有とは何に対するどういった思いなのでしょう。また、接続
441 詞について、想いを共有し、さらなる関係を築くために、で十分に通じるのではないでし
442 ょうか。

443 対応 10：「自分はどうゆうことをしたい」と話せる状態となっており、先輩からは「自
444 分はこんな成長を遂げた」という背中を見せていただくものです。表現について検討し、
445 修正いたしました。

446 意見 11：9 行目のさらなる関係とはどのような関係なのでしょう。

447 対応 11：ただの現役、先輩ではなく、自分の目的の背中を押してもらえる、先輩の背中
448 を自分の目標として追いかけてくなる関係です。

449 意見 12：10 行目-12 行目のここはシニア交流の例会だと思うのですが、ここに候補者を
450 呼ぶという認識で良いですか。

451 対応 12：候補者も呼びたいと考えておりますし、先輩方も連れてきてもらえるような内
452 容としたいと考えております。

453 意見 13：10 行目 将来像をイメージ出来たら拡大の可能性を生み出すのでしょうか。ま
454 たイメージしただけで変化と成長になるのでしょうか。経験することでしかできないと思
455 います。

456 対応 13：一歩踏み出すことで実感できるような、アクションも含めた表記といたしまし
457 た。

458 意見 14：12 行目多様な発言力とはどのようなものですか。

459 対応 14：多様な目的や価値観を持つ相手に寄り添い共感を生み、巻き込みが生まれるよ
460 うな発信力です。

461 意見 15：13 行目ともにが「共に」になるかと思います。

462 対応 15：該当箇所を修正いたしました。

463 意見 16：15 行目 何を学びなおすのか分かりません。

464 対応 16：全員に学びをというイメージでしたが、まわりくどい表現となっているため、
465 修正しました。

466 意見 17：16 行目は新しいセミナーなどは行わず、今あるものをブラッシュアップすると
467 いう認識でいいですか。

468 対応 17：そのような認識です。

469 意見 18：17 行目 経験豊富な人が導かなければならないのか。背景には「主体性」が重
470 要であるとあるのに、最後は自ら成長の機会を得るのではなく、未知が気をもらっている
471 が、本当にこれで良いとも思います。

472 対応 18：導いていく、背中を押していく、そういった機会は、どんな人にとっても簡単
473 なことではないと考えております。

474 意見 19：17 行目 前もつたえたと思いますが、描くだけで、価値を実感できるのか
475 対応 19：描き、一步踏み出すことで実感できる、のようなアクションも含めた表記とい
476 たしま。

477 意見 20：入会した価値の実感が 誰の 何を 成長させるまでしますか。

478 対応 20：成長することにより入会した価値を感じるのかと思いますので、表現を改め
479 ました。

480 意見 21：実感することが人を成長させるのか。成長することにより入会した価値を感じ
481 ることができるのではないのか。

482 対応 21：成長することにより入会した価値を感じるのかと思いますので、表現を改め
483 て修正しました。

484 意見 22：背景に対する手法の部分がどこにつながって、どこで解決できるようになるの
485 か分かりにくいです。より良い社会の実現のためには仲間を増やす必要があるのはその通
486 りで、何故そうしなければならないのかという部分で深堀ができていないように見受けら
487 れます。また、共に高め合う仲間を増やすために会員の多様な発言力が必要なのでしょうか。
488 そして、オリエンテーション委員会として、オリエンテーションが必要な理由はどこ
489 にあるのか教えてください。

490 対応 22：目的と活動のつながりが見えにくいという課題を示し自分の目的を言葉にし、
491 先輩や候補者、対外参加者との対話や研修を通じて、そのつながりを整理し直す場をつく
492 ることで解消していく流れとしています。仲間を増やす必要性は、限られた人数では取り
493 組める事業や役割に限界があること、多様な人財が集まることで地域課題への解決と運動
494 が高まる、という考えです。多様な発信力は、会員一人ひとりが自分の目的や経験を自分
495 の言葉で伝えられるようにするための手段であり、その結果として共に高め合える仲間と
496 の出会いにつながるものと考えています。委員会としては、日々のオリエンテーションだ
497 けでなく、「自分はなぜこの組織で活動するのか」という個々の目的と活動のつながりを
498 自覚する場を設けることが役割です。

499 意見 23：19 行目 未来像と将来像の違いは何ですか。

500 対応 23：使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

501 意見 24：19 行目多くの仲間が集まる青年会議所になります。と 20 行目の会員が集う四日
502 市青年会議所になります。は違いは何ですか。青年会議所と四日市青年会議所、本会議所
503 の使い分けを教えてください。

504 対応 24：使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

505 意見 25：L4 つながりが明確になるほど仲間を増やす必要があると理解できるはやや唐突
506 に感じます。

507 対応 25：間を埋める表現について考え、修正いたしました。

508 意見 26 : L5 個人の主体性を基盤に活動の共感を軸とするという表現がありますが、ど
509 のようなイメージでしょうか。

510 対応 26 : 個人の主体性は基本的に必要なものとして基盤と表現しました。活動を通して
511 得られる共感、仲間との関わりを深める中心的な働きを持つため、それを軸としていま
512 す。「主体性という土台の上に立ち、共感という芯を通していくことで、仲間が増え、運
513 動が広がっていく」というイメージです。

514 意見 27 : L6 パートナーとはどのような方々を指しますか。

515 対応 27 : 理解のある方というイメージでしたが、誤解を生みやすい表現かと考えました
516 ので修正いたしました。

517 意見 28 : L6 ここでの目的は共感を生むことでしょうか。共感を生み仲間を増やすため
518 に、パートナーを招き、自身の経験を自身の言葉で伝えることが会員拡大に結び付くこと
519 を学びます、という文章のほうが明確な気がします。

520 対応 28 : 具体的な提案をありがとうございます。修正いたしました。

521 意見 29 : L9 先輩方との交流は、先輩方との関係強化でしょうか、先輩方の経験や想い
522 を聞くことで会員拡大に向けた自分自身の意識向上や考え方の整理でしょうか。

523 対応 29 : 関係強化もひとつですが、自身の目標のアップデートの機会にと考えておりま
524 す。

525 意見 30 : L17 成長をさせます→成長を促しますとかどうでしょう。

526 対応 30 : 具体的な提案をありがとうございます。修正のヒントとさせていただきます。

527 意見 31 : L18 自身、自分は統一してもよいかと思えます。

528 対応 31 : 使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

529 意見 32 : L19-20 青年会議所となります。青年会議所になります。と語尾が重なっている
530 ので、表現一考されてはどうでしょうか。

531 対応 32 : 重複しておりましたので、文章を整理いたしました。

532 意見 33 : L15 「学び直し、」とありますが、全員に学ぶ機会を提供するという表現のほう
533 があっていると思います。

534 対応 33 : 具体的な提案をありがとうございます。意見を基に修正します。

535 意見 34 : L16 「より良い仕組み」とはどのようなイメージですか。

536 対応 34 : 理事会のサテライト会場案や、LINE 公式アカウントを通した最初期のオリエン
537 テーション、細分化した四日市 JAYCEE プログラムなどを指します。

538 意見 34 : L16 「経験豊富な会員が導き、入会して間もない会員は経験を重ねていく」とあ
539 りますが、ここだけではないはずです。だれがどのように導くのかを考えてほしいです。

540 対応 34 : 表現を変更し、修正いたしました。

541 意見 35 : 18L 「相手に寄り添う」ということが急にでてきたイメージですが、どこからこ
542 こにつながるのでしょうか。

543 対応 35 : 所信の言葉を使っており、抽象的な表現と感じさせてしまっているかもしれま
544 せん。相手のやりたいことや課題感など、相手を知るようなイメージを持っております。

545 意見 36 : 【年間事業概要一覧表】ここで記載の JC プログラムは「四日市 JC プログラ
546 ム」のことですか？もしそうであれば表記の変更をお願いします。

547 対応 36 : 修正いたします。

548 意見 37 : 【年間事業概要一覧表】現状でオブザーバーや対象者を呼んで行う例会事業は
549 ありますか。

550 対応 37 : 5 月、9 月を予定しております。

551 第四回理事予定者会議 2025 年 12 月 8 日(月)

552 意見 1：なし。

553 対応 1：なし。